

東京新聞

中日新聞東京本社
東京都千代田区内幸町二丁目1番4号
〒100-8505 電話 03(6910)2211

玉露園

飲んで美味しく
料理のかくし味でも大好評!

び茶

http://www.gyokuroen.co.jp

紙面について

●電話
03-6910-2201
土日祝日除く9:30~17:30

●FAX
03-3595-6935

東京新聞ホームページ
TOKYO Web
www.tokyo-np.co.jp

本紙記者がツイッターでつぶやいています

東京新聞 政治部
東京新聞 けいざいデスク
東京新聞 写真部
東京新聞 鉄道クラブ
東京新聞 文化部
東京ちゃん太(生活部)
東京レター(外務部)
東京インタム 放送手帳部
チーフカメラマン(写真部)
ほっとなび(東京情報)

新国立隈氏・大成陣営に決定

JSC

二〇二〇年東京五輪・パラリンピックのメイン会場となる新国立競技場の建設計画で、事業主体の日本スポーツ振興センター（JSC）は十二日、設計・施工の二案のうち、建築家の隈研吾氏（六）などによるA案を採用したと発表した。建築の専門家らが両案を採点したが、旧計画で高騰した工費の抑制は点数が極めて低く、工期でA案が優れている理由もはっきりしない。

（森本智之、福田真悟）

「工期短縮に実現性」

採点は、建築の専門家ら七人でつくるJSC技術審査委員会が九項目を九百八十点満点で行い、A案を六百十一点、B案を六百二点とした。

工費削減の項目は満点が二百十点にもかかわらず、A案は三十一一点、B案は二十八点。審査委員長村上周三（東京大名誉教授）は二十三日の記者会見で「両案とも削減割合が少なかつた」と認めた。

この点について議者からは、応募が二案しかなく競争が働かなかつたためではないか、との指摘が出ている。建築家の横文彦さんらと旧計画の見直しを訴えてきた大野秀敏・東京大名誉教授（都市計画）は「両案とも点数が低かつたのは、実

コスト抑制は低評価

新国立競技場の新たな建設計画に採用されたA案のイメージ図（技術提案書よりJSC提供）



新計画(A案)		B案
広く市民に開かれた木と緑のスタジアム	主なコンセプト	21世紀の新しい伝統
日本の伝統建築に用いられる「垂木」を想起させるひさし	デザインの特色	漢文書や神社を思わせる72本の純国産カラマンの柱
木材と鉄骨のハイブリッド屋根	環境対策	屋根に全長850mの「四季の回廊」を設置 自然エネルギーの利用
植栽や自然風を利用した暑さ対策 雨水、地下水利用、太陽光発電	コスト削減、工期短縮	大手3社の強みを生かした資材の適切な調達 施工管理の徹底
シンプルな工法と現場作業の効率化で工期短縮	維持管理費抑制	不要な素材の採用 土壌・気候、雨水、地下水の活用、道路、光熱費削減
耐久性の高い資材の活用 メンテナンスに配慮した構造	選手への配慮	屋上スタート地点の暑さ対策 風が入る構造
サブトラック、更衣室などを最短距離に配置、芝育成のための地中温度制御	ユニバーサルデザインの計画	多様なユーザーに配慮したトイレ・エレベーター、盲導犬用のトイレも
車いす席を会場全体に配置 全席がエレベーターでアクセス可能		
約6万8000人	収容人数	約6万8000人
7万2406m ²	建築面積	約6万6203m ²
49.2m	高さ	54.3m
約1490億円	工費	約1497億円
2019年11月末	完成時期	2019年11月末
大成建設、隈研吾氏	主な施工業者、建築家	竹中工務店、清水建設、大塚組、伊東豊雄氏
評価項目と採点		
112	実現性の実現性	104
252	コスト・工期	228
246	環境計画	270
610	合計点	602

新国立区解詳報

質的な競争がなく、審査委員が「もっと圧縮できるはずだ」と考えた可能性があると話す。

B案は五項目でA案を上回ったが、A案は配点割合が高い工期で勝り、合計点が僅差でかわした。村上委員長はポイントを「工期短縮の実現性」と述べたが、具体的にどう優位なのかは説明を避けた。

会見に同席した大成建設の山内隆司会長は、工場で同じような部材を大量生産して作業を効率化し、工期を短縮するとした。さらに建設ラッシュで人件費が高騰しているため、外国人労働者を活用する方針も明かした。

大野氏は「短縮の実現性が差がついたのは、B案の方がA案よりも構造の設計が複雑だったことが影響したのかもしれない」と指摘。千四百九十億円の工費はあくまで事業者側が見積もった額なので、発注者側が今後も削減に向けてしっかりとチェックするべきだ。今後の課題は予定通りの工期で造れるかどうか。JSCがきちんとコントロールできるか監視する必要がある」としている。